

授業中に大きな地震(震度5弱以上)が発生したら！！

揺れがおさまったら職員が学生の皆さんの誘導準備をします。教職員の指示に従ってください。

I. まず、教室内で 大きな揺れがあったり、緊急地震速報が流れたりしたら、各自、身の安全を確保します。

①机の下にもぐるか、カバン等で頭を保護してください

まずは自身の安全を確保してください。揺れている間は動かないようにしてください。

②教室の出入口付近の学生はドアを開けておいてください。

揺れがおさまったら、次に余震が来る前に教室のドアを開けて避難口を確保します。

③怪我をしている人がいたら、救護活動をおこなってください。

周囲に負傷者がいる場合は可能な限り救護活動を行ってください。お互いに助け合うよう心掛けてください。

④避難指示があるまでその場で待機しててください。
荷物をまとめ、いつでも避難できるよう準備をしてください。

とにかく落ち着いてください。単独行動はせず、職員による誘導が始まったら、避難を開始できるよう準備を始めさせてください。

II. 避難準備 職員が避難経路の安全を確認している間、避難する準備をしてください。

荷物を持って避難の準備ができたなら、先生から(もしくは放送で)避難開始の合図があるまで待ってください。

この間、屋外では避難経路の安全確認をしています。学生のみなさんは避難準備ができたなら、先生(もしくは放送)の合図があるまで待ちます。

III. 避難時は... 先生(もしくは放送)が避難の合図をだしたら、避難を開始してください。周囲の人達と行動を共にしてください。

避難の際の「おはしも」

おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない

原則、階段は上の階から避難する人が優先

エレベーターは使わない

介助を必要とする人がいる場合、必要に応じて、各フロアのエレベーター付近にある手動車椅子を使用し、周囲の介助の上で避難します。

IV. 避難できたら... 避難完了後、逃げ遅れた学生がいないかを確認します。

(授業ごとに)整列をしてください。

授業ごとに整列をしてください。

避難の途中でいなくなった友達がいらないか確認してください。

この間、職員が逃げ遅れた学生がいないか、建物の各フロアを確認します。

避難場所での確認が完了した後は、大学の指示にしたがってください。原則としてその場で解散とし、皆さんは帰宅することとします。状況によっては避難場所にとどまっても構いません。授業の再開等については大学ホームページにて連絡します。

緊急避難場所

緊急連絡先

4号館・7号館・11号館・12号館

⇒ 大江グラウンド(図書館裏、砂のグラウンド)

14号館

⇒ 多目的グラウンド(正門側、芝のグラウンド)

代表(総務課) 096-364-5161

学生課 096-372-7279

教務課 096-364-3770